

留学先国名 : オーストラリア

留学先学校名 : アデレード大学

留学期間 : 平成 28 年 3 月 19 日 ~ 平成 28 年 8 月 21 日

私はアデレードの語学学校に 5 か月間留学しました。学校ではクラスメートと家ではホストファミリー、放課後や休日には学校のサークルの友達と過ごす日々でした。たくさんの刺激を受け実りある留学生活でしたが、前半は私にとって困難の多いものでした。英語をできるだけたくさん聞いて話すために現地の友達をたくさん作って交流することが私の目標の一つだったのですが、英語しか通じないのに十分ではない英語力で友達を作っていくことが本当に大変でした。そのため最初は孤独感と語学力不足を痛感して辛い思いを何度もしました。仲のいい友達ができるまでは家でホストファミリーと夕食を食べたりテレビを見たりする中で、学校での出来事やテレビの感想などを話して英語の練習をしました。私は日本文化に興味を持つ学生や日本語を勉強している学生の集まるサークルに参加して、サークル主催のイベントやアクティビティに積極的に参加しました。私がサークルのメンバーに日本のことを教えてメンバーが私に英語を教えるだけでなく、日本で生まれ育つだけでは気づかないような彼らから見た日本の魅力についてもたくさん教えてもらいました。留学生活の後半ではそのサークルで仲良くなった友達と放課後や休日と一緒に外食してゲームをして過ごしました。

また、私は留学中に三度の旅行に行きました。オーストラリアは世界一大きな大陸が一つの国である巨大な国です。日本とはスケールの違う広大で美しい自然が多く残されており、それらを自分の目で見ることが私の一つの夢でした。最初の旅行はアリススプリングを出発してエアーズロックやカタジュタなどの名所を一週間かけて巡ってアデレードに戻ってくるバスツアーに一人で参加しました。バックパッカー向けのツアーだったため体力面でかなり苦しかった上、私以外の参加者は全員英語を完璧に話せる人ばかりで言語面でも苦労しましたが、エアーズロックの外周 9.6 kmを炎天下の中ひたすら歩いたり、満点の星空の下で地面の上に寝袋を敷いて寝たりといった人生で二度とないかもしれないような経験を得ることが出来ました。二度目の旅行はケアンズに行きました。美しい海に潜ってカラフルなサンゴ礁や熱帯魚とともに多くの死んだサンゴ礁も目にして地球温暖化は本当に進んでいると実感しました。ケアンズではワーキングホリデーでやってきた日本人やオーストラリアに永住している日本人と多く出会ったことで、その日本人の人々にあこがれを感じ、日本で就職して一つの会社に何十年も勤めることだけが自分の将来の生き方の選択ではないかもしれないと思いました。最後の旅行は一人でメルボルンを訪れました。グレートオーシャンロードのツアーに参加し十二使徒などのきれいかつごつごつした岩の海岸線を見ることが出来ました。またスマホの Google Map を頼りに自力で複雑なメルボルン市内の名所を回りました。三度の旅行を通して自力でホテルや飛行機を調べて予約して実行したこと、小さい頃からずっと見たかった景色をたくさん見たことはとても良い経験になりました。

この五か月間はおそらくこれからの人生で重要な意味を持つ五か月間になりました。

私の留学の目的は英語力の向上、国際交流そして将来何をしたいのかを考えることでした。まず、英語力は以前に比べて確実に向上しました。英語力を上げるために日本人だけで固まって行動しないこと、現地の人々に積極的に話しかけて交流することを実践した結果、多くの友達に英語上手くなったねと言われて留学の成果を感じました。オーストラリアには他の国では話されないオースラングが多く、現地の学生との交流を通してそれらについても学びました。

次に私はたくさんの国際交流の機会を得ることが出来ました。学校ではアジアを中心とした国々から多くの生徒と一緒に授業を受けました。授業やアクティビティを通して世界のことについて話し合い学びました。自分の知っている常識だけが一つの考え方ではないということ学びました。さらに先ほども述べた通り、他の留学生や現地の人々と交流する中で自分の知らなかった日本についても知ることが出来ました。人と話す間だけでなく日々の生活の中で目に入る自分にとって新しい文化と自分の文化を比べて共通点や異なる点を発見することで自分の価値観を深めることが出来ました。

最後に、留学中、私の将来について考えました。私は英米文化専攻なので英語で話される授業を多く受講していたので英語能力は平均以上であると自信を持っていました。しかし、将来英語を使う仕事に就けるほどの英語力はないと自覚していて国際関係の仕事に就きたくても自分には無理だと半分諦めていました。その自信のなさから本当に自分がやりたいことは英語ではないかもしれないと思っていましたが、留学中に考えが変化しました。留学中、私は失敗しながらも何度も練習して積極的に使ってみるという過程の中で英語を話すのがうんざりと感じることもなく英語力を向上させてきました。留学での経験を経て、将来は国際関係などの英語を使う仕事に挑戦したいと思うようになりました。私の英語力はまだまだ十分ではない上、英語を使う仕事に就けるレベルまで英語力を上げることは難しいと分かっていますがそれでも留学の経験を将来に活かすために英語の勉強を継続させます。

これから留学する人へ。留学中何度も辛いことに遭遇するかもしれませんが、最初に立てた目標を何度も思い出してなぜ自分は留学しているのかをよく考えてください。実りある留学にするか、時間とお金の無駄になるかは自分次第です。